

みんなでつくる

福祉のまち

今回は、地域の皆さんの暮らしを見守り活動などで支えている福祉のまち推進センターの取り組みを各地区の活動とともに紹介します。

皆さんも地域での交流を深め、互いに支え合うまちづくりに参加しませんか。



推進センターの取り組み

地域住民の生活支援

また、センター内の相談室では、福祉のまち推進センターの推進員が中心となり、家庭生活カウンセラー、元看護師などが、地域の住民の身近な相談に乗り、心の支えになっています。



日常生活から地域の皆さんの暮らしを支える活動に取り組んでいます。町内会や民生委員・児童委員の協力を受けながら、見守りが必要な方への自宅訪問、声掛けなどを行っています。



福祉のまち推進センターとは

少子・高齢化、核家族の増加に伴い「どう子育てしたらよいのか」、「介護のことが心配」、「一人暮らしで急病時が心配」という不安を抱えながらも、相談する相手がいない方が増えています。こうした方も含めて地域の皆さん

が、住み慣れた地域で安心して暮らせるようにという願いから「福祉のまち推進事業」が平成7年度に開始されました。この事業で、地域の住民が自主的に福祉活動を展開する組織「福祉のまち推進センター」が設立されました。地区ごとに住民の日常的な支え合いなどの福祉サービスを推進しています。

災害に強いまちづくり

▼防災ずきん作り



北野地区では、該当者の居住地を把握する地図を作製しました。このほか、ボランティアグループ「遊布の会」を設立して、独居老人や地区の小学校を卒業する児童に手作りの防災ずきんをプレゼントしています。

災害時に自力で避難できない住民を、地域の力で助けるための支援ネットワークの構築に取り組んでいます。

子育て家族を地域で応援

▼さくらキッズ



清田中央地区では、二つの子育てサロン「清ちっちクラブ」「さくらキッズ」を開催。親子で交流したり、子育ての先輩に相談できる場になっています。

近所付き合いが減り、子育ての不安を抱えたままの親子が増える中、誰もが地域で安心して子育てができる環境をつくらうと、子育てサロンを開催しています。

ボランティアの養成

ボランティアを始める方などに技術・知識を身に付けてももらえるよう、講座・研修会を開催しています。

